らかん高原関係施設の再編方針・実施方針（案）概要

【事業概要】
老朽化・耐震性の課題を有する施設を除却するとともに、必要機能を集約した小規模複合施設を新設。日帰り型と宿泊型の二つの拠点に再編し観光地としての魅力向上を目指すもの。

・旧耐震の本郷野外活動交流施設（スカイパーク）を解体し、同位置に必要機能に絞った小規模な複合施設（休憩・軽飲食・トイレ、約54㎡）を新築
・大型ブランコ、ドッグラン（約300㎡）等、短時間滞在でも印象に残る体験型の仕掛けを整備

解体予定対象施設（計10施設）

安全性確保とコスト削減のため、以下の施設を解体（機能廃止または統合）する。



1. スポーツゲームハウス
築37年 除却・統合
内外装の劣化が著しい。解体・撤去とする。飲食店機能は新施設へ集約。



2. 本郷野外活動交流施設（スカイパーク）
築50年 旧耐震 除却・統合
旧耐震・アスベスト含有。継続利用は原則困難。喫茶機能等は新施設へ統合。



3. 大バンガロー
築37年 除却・廃止
構造材の腐朽およびシロアリ被害が進行。宿泊機能は錦エリア施設へ集約。



4. ログハウス
築36年 除却・廃止
構造材の腐朽およびシロアリ被害が進行。錦施設へ集約。



5. ケビン（2棟）
築37年 除却・廃止
構造材の腐朽およびシロアリ被害が進行。錦施設へ集約。



6. 無料休憩所
築49年 旧耐震 除却・統合
旧耐震基準。休憩機能は新施設へ統合。



7. 管理人宿舎
築49年 旧耐震 除却・廃止
躯体・内外装の劣化が進み、天井崩落等の危険個所を確認。



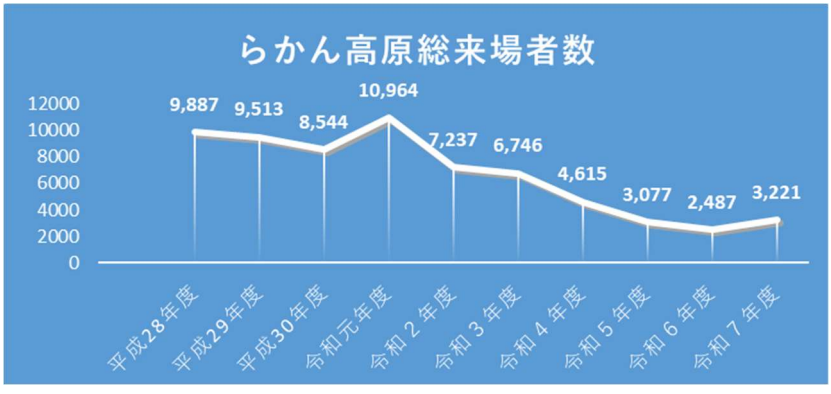
8. 青少年旅行村 管理棟
築50年 旧耐震 除却・廃止
利用されておらず、老朽化が著しい。



9. 青少年旅行村 研修所
築50年 旧耐震 除却・廃止
利用されておらず、老朽化が著しい。



10. 青少年旅行村 炊飯棟
築50年 旧耐震 除却・廃止
利用されておらず、老朽化が著しい。



再編の基本方針・戦略

本郷側は眺望を活かした日帰り型エリアとして再編、錦側に宿泊機能を集約。将来の維持管理コストを抑制しながら、らかん高原の観光・交流拠点を再生する。

ターゲット： ファミリー層等の通常利用者に加え、ペット同伴の観光客も新たなターゲットとする。
負の遺産の解消： 老朽化した危険な建物を除去し、安全で開かれた高原リゾート空間へ転換。
段階的な整備： ミニマムスタートで 成果を検証しながら整備を進める。
地域連携： 住民（自治会連合会）の理解を得つつ、地域活性化の核とする。
ソフト事業： 地域おこし協力隊（R8.4.1着任）を活用し、交流促進・情報発信力を強化。

新設（建替え）予定施設


多目的交流施設（イメージ）


らかん高原
スカイデッキと天空のドッグラン


大型木造ブランコ（イメージ）

多目的交流施設等の概要

項番	設備名	規模・仕様
(1)	多目的交流施設	約54㎡/軽量鉄骨造、平屋建て飲食・休憩スペース、多目的トイレ
(2)	ドッグラン	約300㎡/フェンス、二十扉、簡易日よけ
(3)	ウッドデッキ	約32㎡
(4)	大型ブランコ	1基

※維持管理が容易で、現代のニーズに即した小規模複合施設とする。
※多目的交流施設は、本郷野外活動交流施設跡地に建設する。



継続利用予定施設（計3施設）


錦

1. 羅漢山青少年旅行村（トイレ棟）
令和7年度建替え


錦

2. らかん高原交流センター（築24年）
比較的新しい施設であり、横尾忠則氏の天井画を有する文化的価値の高い建物。継続活用。


錦

3. らかん高原オートキャンプ場（築28年）
良好に管理されておりキャンプやアウトドア利用の拠点として高い評価を得ている。継続活用。

らかん高原施設マップ





らかん高原施設再編後位置図

